




夏が始まった、そんな合図を鳴らすような気持ちのよい水鉄砲のしびき。
今年、2026年のプールびらきに現れたのは…。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和8年6月23日
保育主任通信 松尾 誠史
page_18




幼稚園のプールびらきに荘厳な音楽のもと、子どもたちの健康と安全な水遊びの活動を願い、水の女神様がやってきてくれました。あじさい組の先生の双子の妹といううわさも…。

女神さまからありがたい安全に遊べる魔法の水を手に取り、一人ひとり、プールにまいていきました。

「メガミさま、ありがとう！」
「なあ、なんかいい匂いするー。」
「ほんまや！なんかお風呂の感じ？」



そんな私たちが遊ぶプールから救い出したオタマジャクシ。掃除の時以来、クラスで世話をしています。

毎日ちょっとずつ餌をあげて、見守っているうちに、飼育水槽の淵に登るまで成長しました。

このままでは生きていけないからということで、過ごしやすいところに逃がし、お別れをしました。



シロツメクサの茂る新しい土地に放ったのに、なかなか別れられません。それもそのはず。とっても可愛いのです。

「見て見て！手で草をつかんでる！」
「かわいい！」

各クラスの飼育水槽にはまだオタマジャクシが元気に泳ぎ、それぞれ足が生えたり、手で石に登ったりしはじめています。みんな元気なカエルになってくれるといいですね。

自然や小さな生き物に触れ、心を動かし、命を慈しむ気持ちを育ててほしいと願っています。






「こんなにいっぱい!」「ここにもあったよー!」「まだあるかなー?」
園庭の隅で“タコさんウインナー”を見つけた3歳児。同じかわいい形がたくさんあるので思わず集めたくになりますよね。

Peppie's Pages

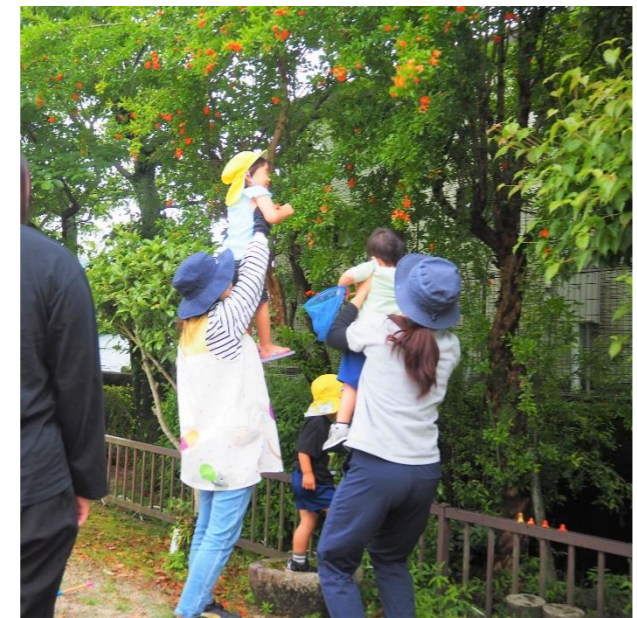
大津市立田上幼稚園
令和8年6月18日
保育主任通信 松尾 誠史
page_17




花壇の淵にたくさん整列したタコさん。なんだか何かを待っている行列のようです。

どうしても木の上のタコさんが欲しくて、抱っこしてもらおう子どもたち。

我々の先輩にあたる、その昔の先生たちが、未来の大津の子どもたちのこと、つまり今の園児のことに思いを馳せて植えられた木々です。
葉を茂らせ、花を咲かせ、心躍る実をつけ、季節を感じさせてくれます。
時代が変わっても、変わらない大切なものがありますね。
※タコさんウインナーはザクロです。



「ペタクリコだよ、ペタクリコ!」と寒天の感触を楽しみながら思わず言葉が出る子ども。おそらく先日まで触っていた片栗粉の遊びからそんなネーミングを発想したのでしょうか。
少し前まで冷蔵庫に入れていたので冷たくて気持ちいいのです。

まるでゼリーのようです。崩すとその場では固まりはしないのですが、色の混ざり具合や透明感、そして柔らかい感覚がやみつきになっているようでした。

